

狂言学習がスタートしました（6年生）

6年生は、1学期に、狂言学習発表会の舞台である平之荘神社の舞台を題材に写生をしました。この場所で、12月に自分たちが狂言の演技を披露するのだと、自覚と期待を胸に四つ切の画用紙いっぱいに思いを表現しました。

続いて、9月22日（木）には、12月の狂言学習発表会で身にまとう『肩衣』の制作を開始しました。どの子も真剣そのものです。初めての肩衣作りでしたが、どの子も説明をよく聞き、手際よく作業ができました。（肩衣作りはまだまだ続きます）



6年生にとって2学期は、修学旅行や音楽会、創立130周年記念事業や狂言学習等々、大変盛りだくさんの学期になりますが、一つ一つの行事に精一杯取り組み、多くの力を付けていってほしいと願っています。

そして、今年度は狂言学習の22年目を迎えます。

先輩から受け継いできた『平荘小学校の狂言』をさらに発展させ、次年度につないでいってほしいと思います。

平荘小学校の狂言は、学校だけでなく、平荘の地域の誇りです。狂言として、守るべきものと、新しく今年の6年生が命を吹き込むもの（今年の6年生にしか表現できない狂言）があります。チームワークで最高の狂言学習発表会に仕上げていってほしいと期待しています。



自然学校の学びが生きています（５年生）

9月20日（火）、自然学校後初登校の朝の子どもたちの様子です。**友だちと仲良く**体を動かしていました。



子どもたちが決めた自然学校のテーマである『自立・友情・協力・全力で楽しむ自然学校』は、9月14日～9月16日の間だけのものではありません。帰校後もそのテーマを意識しながら行動ができることで、本当の成長が見られると思っています。

2泊3日の自然学校のふり返りをしました



『行事は人を育てる』という言葉がありますが、みなさんはどんな力がつきましたか？

たった3日間でしたが、この3日間で、みなさんは、友だちのことをよく考えられるようになりました。チームワークがアップしました。

自分の言動に責任をもたなければならないことも、活動を通して学ぶことができました。

9月20日・21日に、時間を決めて自然学校の遊び係が提案した遊びをしていました。思いっきり体を動かし、みんなで楽しんでいました。よかったです。

ひとりがこまれば
ひとりがこまれば みんなで助け
ひとりの問題を みんなで考え
ひとりのよろこびを みんなでよろこび
肩をたたきながら進むばくたちです。
ひとりのたりないところは みんなでおぎない
ひとりが進めば みんなが進み
みんながみんなを良くしあいつつ
肩をくんで進む わたしたちです。

小西健二郎

